

働き続けるために大切なことは、給料だけじゃない！ 目先の数字からは見えづらいけれど、パワーワークには職人のことを考える会社がたくさん。その中の1社の取り組みを紹介します。

仕事に集中できる環境。 鳶職人の後方支援がある会社。

出社して即現場。
ヤードスタッフの存在。

職人の安全と生活を向上させる取り組みは、多くの施工会社で工夫されている。最前線で働く職人を後方から支援することとは？ その一つが、現場作業に集中できる環境づくりだ。

資材ヤード内はすべてアスファルト舗装を施し、各資材を徹底的に整頓することで安全を実現する幸成工業。普段から自分たちが働く環境を整えることで、職人の一人ひとりが整理整頓の意識を持ち、各現場でも安全で効率的な作業ができるのを期待している。

さらに同社の職人は、当日の現場の残材整理と翌日の資材準備の必要がない。各職人は準備されたトラックに乗り換えるだけで、すぐに新たな現場に出発することができる。それを実現させているのが専任のヤードスタッフと

目立たず職人を支える
福利厚生の大切さ。

働く人にとって給与の額は大きな問題。ただし給与額だけで判断すると、むしろ損をするかもしれない。

例えばプライベートでの車の運転中やレジャーでの事故の場合。体が資本の建設業界において、現場での傷病をカバーする社会保険の加入率は、急速に増えているが、勤務外で適応するものはまだ非常に限られている。

事故とは不意に起きてしまうものであり、例え自身に責任が無くても、体を動かすことができなければ建設現場で働くことは難しく、非常にまずい状況になる。

幸成工業では新たな職人を社員として雇い入れる。勤務外の怪我や病気にも対応できる保険に加入するだけでな

豊富なトラックの存在だ。

乗り換えたトラックで職人が現場に出ている間、資材ヤードでは専任のスタッフによつて残材整理と次の現場に必要な資材の準備が進められる。このおかげで職人は帰社後にすぐ家へ帰ることができるので。6班に分かれた職人たちに対し、トラックの数は大小含めて計14台。職人たちは現場外の作業負担がなくなつたことで、効率よく安全に集中して作業が可能となつた。



▲現場で必要な資材の種類や量を記した伝票を元にトラックへ積み込む



①資材ヤードではさまざまな資材が整理整頓。ヤードスタッフも迅速に必要なものを必要な数だけ用意できる。
②資材を積むのも降ろすのもヤードスタッフの仕事。午前中でばらしを終えた職人は、ヤードでトラックを乗り換えて新たな現場へ向かう。
③7階や8階建の足場になると、地上と上部ではトランシーバが欠かせない

今号の 取材協力は… 幸成工業(株)

TEL.048-946-7041
<http://www.koseikougyou.biz/>

埼玉県草加市清門1-249-3
K-StageBldg.2F

■設立2001年
■従業員数 30名



撮影●酒井一郎 構成・取材・文●アドギガ



く、昨今のコロナ禍のような急な現場のストップでも収入を保証。求人の給与欄だけでは見えづらい大きなメリット。身分が保証されるので余計な心配なく仕事を従事できる。

また、現場で積極的に活用されているトランシーバには、確実な伝達以外にも意味がある。例えば集合住宅の改修現場では、普段の暮らしを続ける住民がいる。そこで職人が大声で意思伝達をすることは、住民の暮らしを妨げるだけではなく、工事現場のイメージを悪化させることにもつながる。

建設業未経験者、特に若い人たちにとっては中々理解が難しく、分かりやすい給与だけに目が行くかもそれない。しかし一步引いて福利厚生や会社のアピールポイントを読み込むと、本気で職人のことを考えた自分にふさわしい会社が見えてくるはずだ。

専任ヤードスタッフ、豊富なトラック。



②



③



①

すべての目的は職人たちの負担を減らすこと。幸成工業は、資材ヤードに専任スタッフを配置し、6つある作業班の倍以上の数である14台のトラックを用意している。職人たちが現場に向かうために必要なことは、準備の整ったトラックに乗り換えるだけだ。

職人たちが現場から資材ヤードへ戻った後の現場外作業。例えば残材整理や次の現場のための資材準備は、すべて専任のヤードスタッフが担当する。その結果、職人たちは現場の作業に集中でき、なによりも安全に現場をこなし続けることが可能となつた。

職人が仕事に意欲を持ちながら、長く働き続けられる環境づくりの答えは一つではない。ただ一つ確かなことは、幸成工業は明らかな答えを導きだしたことだ。

すべての目的は職人たちの負担を減らすこと。幸成工業は、資材ヤードに専任スタッフを配置し、6つある作業班の倍以上の数である14台のトラックを用意している。職人たちが現場に向かうために必要なことは、準備の整ったトラックに乗り換えるだけだ。

職人たちが現場から資材ヤードへ戻った後の現場外作業。例えば残材整理や次の現場のための資材準備は、すべて専任のヤードスタッフが担当する。その結果、職人たちは現場の作業に集中でき、なによりも安全に現場をこなし続けることが可能となつた。

職人が仕事に意欲を持ちながら、長く働き続けられる環境づくりの答えは一つではない。ただ一つ確かなことは、幸成工業は明らかな答えを導きだしたことだ。

[Company Profile]

幸成工業株式会社

[許可番号] 埼玉県知事許可(般-29)第57771号

[代表者] 早坂宏幸 [設立年月] 2001年2月

[住所] 埼玉県草加市清門1-249-3 K-StageBldg.2F [電話] 048-946-7041

[URL] <http://www.koseikougyou.biz/> [従業員数] 30名



[写真①] 資材ヤード内は徹底して各種資材を整理整頓。フォークリフトの作業効率も上がり、また資材の点検管理もしやすい。それは安全と密接に繋がっている。

[写真②] アスファルト舗装されたヤード内では、2台のフォークリフトが呼吸ピッタリに動き回る。[写真③] 常にきれいに保たれているトラックたち。きれいな現場の第一歩。